

(3)



UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE

COMMISSIONER FOR PATENTS
UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE
WASHINGTON, D.C. 20231
www.uspto.gov

| APPLICATION NUMBER | FILING/RECEIPT DATE | FIRST NAMED APPLICANT | ATTORNEY DOCKET NUMBER |
|--------------------|---------------------|-----------------------|------------------------|
| 09/995,164 | 11/29/2001 | Syuji Mori | |

CONFIRMATION NO. 9367

FORMALITIES LETTER



OC00000007174943

Syuji Mori
98-12 Aoki
Inamachi
Tsukuba-gun
Ibaraki-ken, 300-2346
JAPAN

Date Mailed: 12/10/2001

NOTICE TO FILE MISSING PARTS OF NONPROVISIONAL APPLICATION

FILED UNDER 37 CFR 1.53(b)

Filing Date Granted

An application number and filing date have been accorded to this application. The item(s) indicated below, however, are missing. Applicant is given TWO MONTHS from the date of this Notice within which to file all required items and pay any fees required below to avoid abandonment. Extensions of time may be obtained by filing a petition accompanied by the extension fee under the provisions of 37 CFR 1.136(a).

- The application was filed in a language other than English. Applicant is required to provide an English translation of the specification and a statement that the translation is accurate. (See 37 CFR 1.52(d)).
- Because your specification was filed in a language other than English, the Office was unable to determine the number of claims submitted. Additional claim fees may be due once the number of claims can be determined.

*A copy of this notice **MUST** be returned with the reply.*

WAC
Customer Service Center

Initial Patent Examination Division (703) 308-1202

PART 2 - COPY TO BE RETURNED WITH RESPONSE



2

IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE

DECLARATION

Assistant Commissioner for Patent
Washington, D.C. 20231

Sir:

I, Syuji MORI of 98-12 Aoki, Inamachi, Tsukuba-gun, Ibaraki-ken, hereby declare:
that I am well acquainted with both the English and Japanese languages,
that the attached document is a true and correct translation made by me to the best of my knowledge and belief of: Japanese specification of 09/995,164, and
that all statements made herein of my own knowledge are true and that all statements made on information and belief are believed to be true; and further that these statements were made with the knowledge that wilful false statement and the like so made are punishable by fine or imprisonment, or both, under Section 1001 of Title 18 of the United States Code, and that such willful false statement may jeopardize the validity of the application or any patent issued thereon.

This 15th day of January , 2002

Syuji Mori

Syuji MORI

ベルトおよびベルト曲げ金具

BACKGROUND OF THE INVENTION

この発明は、腰から骨盤、そして下っ腹の恥骨上方にかけて締めると同時に、恥骨上方および鼠径部に沿って加圧し、腹式呼吸を促すベルトおよびベルト曲げ金具に関する。

従来、日本人は日本固有の和服の帯やフンドシ等を着用している。

従来の和服の帯やフンドシは人体における生理作用を考えるならば、それは捨て去るべきでないものである。古来日本では、「腹を据える」、「腹が太い」、「腹ができる」等の腹、すなわち、へそ下から恥骨上方部にかけての部分に関する言葉が多いのであるが、それは帯やフンドシ等で下っ腹を締めることにより、腹圧が上がり、腹式呼吸が自在になり、気力旺盛で沈着な人物を形成してきたのである。しかるに近代社会では洋服になり、ズボンでは大体へその上でベルトを締めるので、下っ腹を締めるということもなく、腹式呼吸を忘れ、生理的、精神的にかなりもろくなってしまっていると思われる。なぜなら、下っ腹が軟弱な状態では気力というものはでてこないものなのである。逆に、精神病者やノイローゼ等の人間の下っ腹は、筋張っているか、フニャフニヤのはずである。

SUMMARY OF THE INVENTION

本発明は以上のような従来の欠点に鑑み、本発明は下っ腹を効率よく締めることによって気力を充実させることができるとともに、1本のベルトで最適状態で容易に締めつけることができるベルトおよびベルト曲げ金具を提供することを目的とする。

また、本発明はデザインを損なわずに最適状態で締めつけることができるベルトおよびベルト曲げ金具を提供することを目的とする。

本発明の前記ならびにそのほかの目的と新規な特徴は次の説明を添付図面と照らし合わせて読むと、より完全に明らかになるであろう。

ただし、図面はもっぱら解説のためのものであって、本発明の技術的範囲を限定するものではない。

BRIEF DESCRIPTION OF THE DRAWINGS

- FIG. 1 は本発明の第1の実施の形態のベルトの説明図、
FIG. 2 は本発明の第1の実施の形態のベルトの説明図、
FIG. 3 は本発明の第1の実施の形態のベルト状態の説明図、
FIG. 4 は本発明の第1の実施の形態のバックル本体部の説明図、
FIG. 5 は本発明の第1の実施の形態の鼠径部加圧具の説明図、
FIG. 6 は本発明の第1の実施の形態のベルト曲げ金具の説明図、
FIG. 7 はベルト曲げ金具のベルトの通り方の説明図、
FIG. 8 は本発明の第1の実施の形態のベルト曲げ金具の金具の正面図、
FIG. 9 は本発明の第1の実施の形態のベルト曲げ金具の金具の平面図、
FIG. 10 は本発明の第1の実施の形態のベルト曲げ金具の金具の右側面図、
FIG. 11 は FIG. 10 の 11-11 線に沿う断面図、
FIG. 12 はベルト曲げ金具にベルトを通す説明図、
FIG. 13 はベルト曲げ金具にベルトを挿着した状態説明図、
FIG. 14 はベルト曲げ金具にベルトが通った状態の説明図、
FIG. 15 は本発明の第1の実施の形態のベルトを挿着する状態の説明図、
FIG. 16 は本発明の第1の実施の形態のベルトの挿着状態の説明図、
FIG. 17 は本発明の第1の実施の形態の使用状態の説明図、
FIG. 18 は本発明の第1の実施の形態の使用状態の説明図、
FIG. 19 は本発明の第2の実施の形態のバックル本体の平面図、
FIG. 20 は本発明の第2の実施の形態のバックル本体の正面図、
FIG. 21 本発明の第2の実施の形態のバックル本体の底面図、
FIG. 22 本発明の第2の実施の形態のバックル本体の右側面図、
FIG. 23 本発明の第2の実施の形態のバックル本体部の説明図、
FIG. 24 は FIG. 23 の 24-24 線に沿う断面図、

FIG. 25 は本発明の第2の実施の形態の止め金の説明図、
FIG. 26 は本発明の第2の実施の形態のベルトの挿着状態の説明図、
FIG. 27 は本発明の第3の実施の形態のベルト曲げ金具の説明図、
FIG. 28 は本発明の第3の実施の形態のベルト曲げ金具の金具の正面図、
FIG. 29 は本発明の第3の実施の形態のベルト曲げ金具の金具の平面図、
FIG. 30 は本発明の第3の実施の形態のベルト曲げ金具の金具の右側面図、
FIG. 31 は FIG. 29 の 31-31 線に沿う断面図。

DETAILED DESCRIPTION OF THE PREFERRED EMBODIMENTS

以下、図面に示す実施の形態により、本発明を詳細に説明する。

FIG.1 ないし FIG.18 に示す本発明の第1の実施の形態において、1 は本発明のベルトで、このベルト1 は、FIG.1 ないし FIG.3 に示すようにベルト生地2 と、このベルト生地2 の一方の端部に取付けられたバックル本体部3 と、前記ベルト生地2 の前記バックル本体部3 に隣接する部位に固定的に取付けられた一方の鼠径部加圧具4 と、前記ベルト生地2 に取付けられたベルト曲げ金具5、6 と、前記ベルト生地2 の他方の端部寄り部位に固定的に取付けられた他方の鼠径部加圧具7 と、前記ベルト生地2 の他方の端部部位に固定的に取付けられた止め金8 とで構成されている。

前記ベルト生地2 は、従来と同様の布製等のものがよく、その幅は、好ましくは5~6 cmが適当である。幅が広すぎたり、弾力性があると下っ腹の締り具合がぼけるのである。

前記バックル本体部3 は、恥骨上方に圧力を加える部材として使用され、FIG.4 に示すように、ナット9、座金10 を介して前記ベルト生地2 の一方の端部の裏面にベルト長さ調整金具11 を位置させ、前記ベルト生地2 の表面側から、ゴム板12、座金13 を介して、ボルト14 を挿入し、前記ベルト長さ調整金具11 のねじ部に結合し、一体的に固定する。

なお、ベルトの裏面とは本ベルトを装着したとき人体に接する側をいい、ベルトの表面とはその反対側をいう。

前記一方および他方の鼠径部加圧具4および7は、FIG.5に示すように、ナット15および座金16をゴム板17に嵌めこみ、前記ベルト生地2の表面部位から取付けクリップ18を、前記ナット15、座金16、ゴム板17およびベルト生地2と一体となるように取付ける。

前記ベルト曲げ金具5および6は、FIG.6ないしFIG.11に示すように、四角形状の枠金具19と、この枠金具19に前記ベルト生地2を挟み込み、曲げることができるE形状の金具20とから構成されている。前記金具20は、根元部20aと、この根元部20aの両端部より垂直方向に、ほぼ水平に突出するように設けられた、先端部がクランク状に形成された挟み棒20b、20cと、前記根元部20aのほぼ中央部より垂直方向に、突出するように設けられた、下方向に折り曲げ、先端部は逆クランク形状に形成された中央挟み棒20dとで構成されている。

さらに、FIG.7に示すように、B—BおよびC—Cでベルト生地の通り方を表したものである。金具20の根元部20aの近く、B—B方向に通る部分は波状に折れ曲がり、金具20の先端部21b、21d、21c付近のC—C方向は略水平に通る。このB—B方向とC—C方向のたわみの差がベルト生地の曲がりを作るのである。

前記金具20aの先端部21bおよび21cと、逆クランク状の先端部21dの3つのクランク状の先端部位で枠金具19の長手方向の一辺を挟み込めるようになることができる。

上記構成のベルト1は、まずFIG.12ないしFIG.14に示すように、ベルト生地2にたわみを持たせ、2つの山と1つの谷を形成し、その2つの山の部分に金具20の挟み棒20bおよび20cを、谷の部分に中央挟み棒20dを通す。次にFIG.13に示すように、そのベルト生地2を挟み込んだ金具20を枠金具19にくぐらせ、その後金具20の挟み棒20の3つの先端部21b、21c、21dで枠金具の長手方向の一辺を挟んだ後、枠金具19の両外側のベルト生地を引っ張ると、FIG.14の状態になり、ベルト生地の曲げが完成する。

次に、FIG.15ないしFIG.18に示すように、ベルト生地2の他方の端部に止め金8をミシン等で縫い止め、一方の端部に、ベルト長さ調整金具11でベルト使

用者の腰から鼠径部、恥骨上方までの長さを決め、固定する。その後、腰から鼠径部そして恥骨上方へとベルトを装着した場合、恥骨上方だけでなく鼠径部全体に適度な圧力を加えると、下っ腹全体をかかえ上げるような具合になり、腹式呼吸がより楽にできるようになることに気付いたことから、バックル本体部3の他に鼠径部にも圧力が加えられるように、鼠径部加圧具4および7を左右の鼠径部の適当な部分に、鼠径部加圧具2および7の取付けクリップ18を用いてベルトの裏面に取付ける。

しかし、一本のベルトを、腰から鼠径部、そして恥骨上部へと回して締めると、人体の表面は曲面の連続であることと、腰と恥骨上方との高低差によりたわみが生じるからそのたわみを解消するためのベルト曲げ金具5および6を、腰の両側のやや後方に取付ける。

なお、バックル本体部1のゴム板13と鼠径部加圧具2および7のゴム板17の厚さは1cm以内、たて幅はベルトの幅と同じくらいが適當と考える。

また、本実施の形態では、ゴム板を使用しているが、これに限らず、ある程度硬さのある弾力性材や衝撃吸収材を用いてもよい。

次に、FIG.19ないしFIG.31に示す本発明の異なる実施の形態につき説明する。なお、これらの本発明の異なる実施の形態の説明に当って、前記本発明の第1の実施の形態と同一構成部分には同一符号を付して重複する説明を省略する。

FIG.19ないしFIG.26に示す本発明の第2の実施の形態において、前記本発明の第1の実施の形態と主に異なる点は、L字状のフック22を有する金属製のバックル本体23、このバックル本体23と一体的に取付けられるビス插入孔24を有するゴム板12Aとからなるバックル本体部3Aと、このバックル本体部3Aの前記フックに引っ掛けて止めることができる係止孔25およびビスやナット等を插入する插入孔30を有する止め金本体26、この止め金本体26の両端部にベルト生地2を引っ掛けて長さを調整することができるよう係止された係止部27とからなる止め金6Aを用いた点で、前記バックル本体23は、ビスやナット等を插入する插入孔28と、前記バックル本体23の端部に形成されたベルト生地插入孔29とを有する。

このように構成したベルト1Aにしても、本発明の第1の実施の形態と同様の

作用効果を得ることができるとともに、FIG.26 に示すように、しっかり締めることができる。

FIG.27 ないし FIG.31 に示す本発明の第3の実施の形態において、前記本発明の第1の実施の形態と主に異なる点は、根元部20aのほぼ中央部より垂直方向に、突出するように設けられた中央挟み棒20eを有するE形状の金具20Aを用いたベルト曲げ金具5A、6Aを使用した点で、このように構成されたベルト曲げ金具5A、6Aを用いたベルト1Bにしても本発明の第1の実施の形態と同様の作用効果を得ることができる。

なお、前記本発明の異なる実施の形態では主に第1の実施の形態を基にして説明したが、本発明はこれに限らず、各実施の形態に使用された構成を組み合わせて使用しても同様な作用効果が得られる。

以上の説明から明らかなように、本発明にあっては次に列挙する効果が得られる。

本発明の効果は、腹式呼吸の誘発、丹田に気を込めるということ、そして腰の固定である。

(1) ベルト生地と、このベルト生地の一方の端部取付けられた止め金と、この止め金と係合することができる前記ベルト生地の他方の端部に取付けられた、前記ベルト生地の長さを調節、固定、かつ、恥骨上方を圧迫することができるバックル本体と、前記ベルト生地にスライド可能、かつ着脱可能に取付けられた、前記ベルト生地を曲げることができるベルト曲げ金具とで構成しているので、一本のベルトを腰から鼠径部、そして恥骨上方へと回して締め、更に恥骨上方と鼠径部に効率よく圧力を加えることができ、不随意的な腹式呼吸を持続させることができる。すなわち、ベルトを締めた状態で吸息の状態になると、自然な吸息時での腹腔内圧の上昇、腹部が外側に広がる状態でベルトは鼠径部に沿って締めているので、更なる腹腔内の力が下っ腹を締めると同時に、腹部を抑えつけるのではなく、より腹部が広がる方向へ働き、横隔膜が下げられる、すなわち呼吸量が寄り多くなるということである。

(2) 前記(1)によって、ベルトを締めることによって、腹圧がかかった状態になり腹腔内部の筋肉および諸臓器により緊張をもたらし、活性化させることができ

できる。

(3) 前記(1)によって、気持ちがゆったりと落ち着くことができ、ゆったりとしているながら充実感を失わないのである。色々なストレスにさらされた場合でも、腹部で気を受け止めることができるので。イライラやカリカリする度合いが非常に少なくなる。さらに深く、長く、そして静かな腹式呼吸は自我意識が暴れまわることを容易に静め、自然との一体感を効率よくもたらすことができる。

(4) 前記(1)によって、構造が簡単であるので、容易に実施することができるとともに、安価に製造することができる。

What is claimed is:

1. ベルト生地と、このベルト生地の一方の端部取付けられた止め金と、この止め金と係合することができるよう前記ベルト生地の他方の端部に取付けられた、前記ベルト生地の長さを調節、固定、かつ、恥骨上方を圧迫することができるバックル本体と、前記ベルト生地にスライド可能、かつ着脱可能に取付けられた、前記ベルト生地を曲げることができるベルト曲げ金具とからなることを特徴とする、腹式呼吸を誘発することができるベルト。
2. 前記ベルト生地に取付けられた、鼠径部を加圧して、腹式呼吸をしやすくすることができる鼠径部加圧具を用いたことを特徴とする特許請求の範囲第1項に記載のベルト。
3. 枠金具と、この枠金具にベルト生地を介して係合して、該ベルト生地を曲げることができる、根本部、この根元部の両端部より垂直方向に突出するように形成され、先端部をクランク状に形成された挟み棒、前記根元部のほぼ中央部より垂直方向に突出するように形成され、先端部を前記挟み棒の先端部とは逆方向のクランク状に形成された中央挟み棒とからなる金具とで構成されることを特徴とするベルト曲げ金具。
4. 前記金具の中央挟み棒の先端部は真っ直ぐに形成されていることを特徴とする特許請求の範囲第3項に記載のベルト曲げ金具。

ABSTRACT OF THE INVENTION

本発明は、ベルト生地と、このベルト生地の一方の端部取付けられた止め金と、この止め金と係合することができるよう前記ベルト生地の他方の端部に取付けられた、前記ベルト生地の長さを調節、固定、かつ、恥骨上方を圧迫することができるバックル本体と、前記ベルト生地にスライド可能、かつ着脱可能に取付けられた、前記ベルト生地を曲げることができるベルト曲げ金具とからなるので、下っ腹を効率よく締めることによって気力を充実させることができるとともに、1本のベルトで最適状態で容易に締めつけることができ、デザインを損なわずに最適状態で締めつけることができる。



Sector

(3)

PTO/SB/21 (08-00)

Approved for use through 10/31/2002. OMB 0651-0031
U.S. Patent and Trademark Office: U.S. DEPARTMENT OF COMMERCE

Under the Paperwork Reduction Act of 1995, no persons are required to respond to a collection of information unless it displays a valid OMB control number.

TRANSMITTAL FORM

(to be used for all correspondence after initial filing)

Total Number of Pages in This Submission

Application Number

09/995,164

Filing Date

11/29/2001

First Named Inventor

Syuji Mori

Group Art Unit

Examiner Name

Attorney Docket Number

ENCLOSURES (check all that apply)

- Fee Transmittal Form
 - Fee Attached
- Amendment / Reply
 - After Final
 - Affidavits/declaration(s)
- Extension of Time Request
- Express Abandonment Request
- Information Disclosure Statement
- Certified Copy of Priority Document(s)
- Response to Missing Parts/ Incomplete Application
 - Response to Missing Parts under 37 CFR 1.52 or 1.53

- Assignment Papers (for an Application)
- Drawing(s)
- Licensing-related Papers
- Petition
- Petition to Convert to a Provisional Application
- Power of Attorney, Revocation Change of Correspondence Address
- Terminal Disclaimer
- Request for Refund
- CD, Number of CD(s) _____

- After Allowance Communication to Group
- Appeal Communication to Board of Appeals and Interferences
- Appeal Communication to Group (Appeal Notice, Brief, Reply Brief)
- Proprietary Information
- Status Letter
- Other Enclosure(s) (please identify below):

Remarks

English translation specification

SIGNATURE OF APPLICANT, ATTORNEY, OR AGENT

| | |
|-------------------------|------------|
| Firm or Individual name | Syuji Mori |
| Signature | Syuji Mori |
| Date | 01/15/2002 |

CERTIFICATE OF MAILING

I hereby certify that this correspondence is being deposited with the United States Postal Service with sufficient postage as first class mail in an envelope addressed to: Commissioner for Patents, Washington, DC 20231 on this date: _____

| | | | |
|-----------------------|--|------|--|
| Typed or printed name | | | |
| Signature | | Date | |

Burden Hour Statement: This form is estimated to take 0.2 hours to complete. Time will vary depending upon the needs of the individual case. Any comments on the amount of time you are required to complete this form should be sent to the Chief Information Officer, U.S. Patent and Trademark Office, Washington, DC 20231. DO NOT SEND FEES OR COMPLETED FORMS TO THIS ADDRESS. SEND TO: Assistant Commissioner for Patents, Washington, DC 20231.